

公共事業等施行状況調（令和2年10月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (10月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	26,588	24,916	17,926	15,026	12,532	69.9	12,143	80.8	
2	農林・水産	34,354	27,332	26,704	19,610	20,450	76.6	15,446	78.8	
3	道 路	56,264	53,794	35,263	31,666	29,053	82.4	24,066	76.0	
4	港湾・空港	6,929	5,576	3,712	2,690	2,200	59.3	2,249	83.6	
5	下水道・公園	8,551	6,143	2,314	3,560	1,699	73.4	3,034	85.2	
6	住 宅	2,090	1,736	1,680	1,133	1,358	80.8	741	65.4	
7	庁 舎	1,270	744	1,151	603	503	43.7	500	82.9	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	13,992	8,344	11,456	7,127	3,260	28.5	2,240	31.4	
11	工業用水・上水道等	1,042	1,242	89	148	80	89.9	109	73.6	
12	災害復旧	190	129	182	15	59	0.0	15	100.0	
13	その他	10,710	7,951	7,428	4,625	2,994	40.3	2,384	51.5	
	計	161,980	137,907	107,905	86,204	74,188	68.8	62,927	73.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和2年10月末）

（単位：社、件、百万円、％）

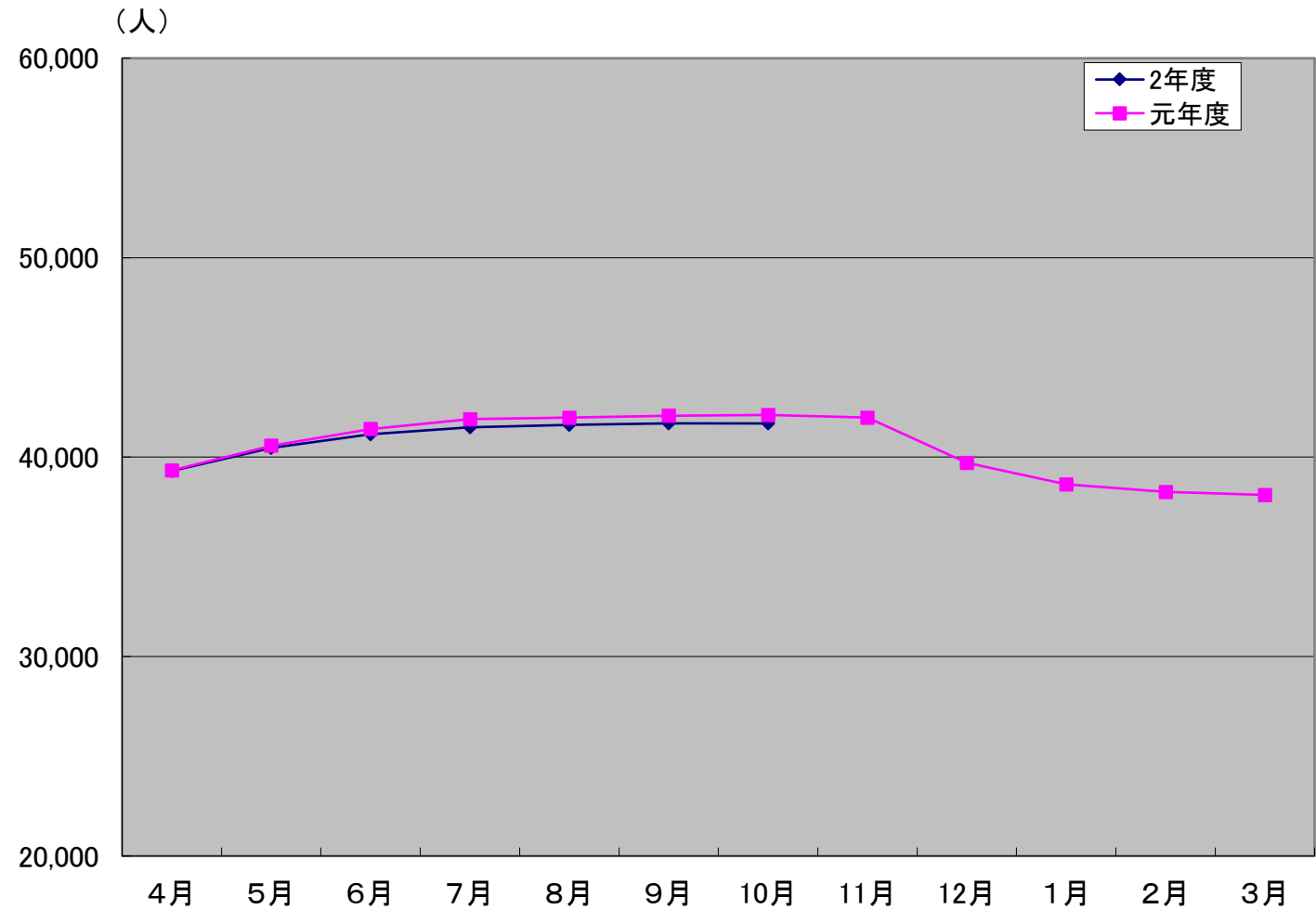
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
2年度	161,980	107,905	23,540	2,196	74,188	22,952	2,100	65,610	491	74	3,643	97	22	4,934
					B/A 発注率 68.8	C/B 97.5			D/B 2.1			E/B 0.4		
前年度比	117.5	125.2	103.6	104.3	117.9	103.7	104.2	114.3	95.2	98.7	149.8	149.2	137.5	160.2
元年度	137,907	86,204	22,714	2,106	62,927	22,133	2,015	57,414	516	75	2,433	65	16	3,080
					B/A 73.0	C/B 97.4			D/B 2.3			E/B 0.3		

被保険者数

	2 年 度	元 年 度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月		41,978
12月		39,712
1月		38,636
2月		38,252
3月		38,104

前月末被保険者数	41,687
資格取得者数	539
資格喪失者数	533
転入者数	0
転出者数	4
今月末被保険者数	41,689

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)10月末



建設資材の需給・価格動向調査 (2年11月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の9月の販売量は3万4千トン(セメント協会調べ)で前年同月比4.3%の減少。普通ポルトランド(バラ)でトン当たり13,400円と前月比変わらず。メーカー各社は、値上げ未達分の浸透を目指し、需要家と粘り強く交渉を続けている。しかし、主たる需要家の生コンメーカーは、生コン需要の低迷や骨材調達などのコスト増加が経営を圧迫しているとして、値上げに抵抗している。交渉に進展は見られず、先行き、横ばい・推移の公算が大きい。
コンクリート製品	○			○			○			○			○			○			○			○			荷動きは、総じて鈍い状況が続いている。需要環境が好転しない状況下、価格に変動はみられない。メーカー側では安値受注を回避するために、需要家の厳しい指し値に応じない姿勢を強める構え。先行き、横ばいで推移する見通し。
生コンクリート	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の10月の出荷量は6万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比0.7%の増加。出荷量が伸びずに採算の悪化を懸念する一部メーカーは、原材料の値上がり、運搬コストの上伸を理由に値上げを打ち出している。需要家の購買姿勢が厳しい中、売り腰を強めるには至らず、現行価格の維持が精いっぱい。先行き横ばいで推移する公算が大きい。
砕 石	○			○			○			○			○			○			○			○			青森県内の生コン・コンクリート製品需要が低水準で推移しており、荷動きは精彩を欠いている。一部のメーカーは、需要減少下での生産設備更新費用の確保や人件費上昇を理由とする値上げの交渉を続けている。しかし、主たる需要家である生コンメーカーは、生コン出荷量が減少しているなかでの値上げには難色を示しており、交渉は難航している。先行き、横ばいの公算大。
小 棒	○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり67,000円と前月比変わらず。荷動きは小口が主体で、秋需の手応えは薄く、盛り上がりは欠く展開が続いている。メーカーの値上げに伴う価格転嫁は徐々に浸透しつつあり、安値品は底上げされている。需要家は値上げに難色を示しているが、メーカー、流通筋とも引き続き値上げ未達分の浸透を目指している。目先、強含みの見通し。
アスファルト	○			○			○			○			○			○			○			○			10月の県内出荷量は9万トン(合材協会調べ)で前年同期比22.8%の増加。洋野階上地区の復興道路関連向けは比較的好調だが、一般物件の需要は冷え込んでいる。こうしたなか、需要家の値下げ要求は強いものの、メーカー各社は、出荷量減少による固定費率の上昇に加え、スタアス価格上昇による採算悪化を理由に、現行価格の維持に努めている。今後、スタアス供給量減少に伴う調達コスト増も予想されるが、製品の値上げは難しそう。先行き、横ばいの公算大。
木 材	○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり98,000円と前月比変わらず。9月の県内新設住宅着工戸数は479戸で前年同月比24.1%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比1.8%の減少、それに次ぐ貸家は同57.5%の大幅減少などとなっている。経済活動の低迷が続くなか、全国の新設住宅着工戸数が15カ月連続で減少するなど、建築用木材を取り巻く需要環境が続いている。こうしたなか、例年に比べ原木の出材が広域で減少していることで丸太材価格が上昇しており、流通業者は、採算確保に向けて売り急ぎを回避する姿勢を強めている。目先、横ばいで推移する見通し。
油 類	○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり98円、重油はローリー渡りで49円と共に前月比1円下落。欧米では新型コロナウイルス感染者数が再拡大傾向にあり、欧州各国が次々とロックダウンの実施を表明。この影響で10月末に原油相場は下落。これを受け元売り各社は仕切価格を見直し、流通筋も追従した。ロックダウンは今後拡大するとみられ、世界的な景気後退とそれに伴う燃料油需要の減退を懸念する見方が広がっている。目先、弱含みの見込み。
型枠合板	○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,250円と前月比変わらず。現地メーカーの生産減少等を背景に、9月の輸入合板入荷量は13万5千m3(財務省調べ)で前年同月比27.9%の減少。前月に続き記録的な低水準となったため、市中の品薄感がさらに強まっている。流通筋は夏場に軟化した相場の引き締め動き安値物が払拭されつつあるが、需要の低迷が続くなか、反発するまでには至っていない。市場では、今後さらに需給がタイ化するとの見方が強まっており、需要家の一部に調達を最優先する動きも見られる。目先、強含みで推移する見込み。
形 鋼	○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり78,000円と前月比変わらず。流通各社は仕入れ価格の上昇を転嫁すべく、値上げ交渉を継続している。しかし、需要家は、受注競争の激化を背景に値上げに難色を示しており、高値の浸透は見られない。メーカー各社は、需要の回復には時間を要するとみており、減産に伴う採算低下を抑えるため、価格重視の販売姿勢を鮮明にしている。メーカーの姿勢を下支えとし、流通各社は売り腰をさらに強めていく構えで、目先、強含みで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (2年11月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	97,000	0.0	97,000	0.0	97,000	0.0	97,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	67,000	0.0	67,000	0.0	67,000	0.0	67,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	71,000	0.0	71,000	0.0	71,000	0.0	71,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	88.0	-1.1	88.0	-1.1	88.0	-1.1	88.0	-1.1	88,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	49.0	-2.0	49.0	-2.0	49.0	-2.0	49.0	-2.0	49,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	78,000	0.0	78,000	0.0	78,000	0.0	78,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

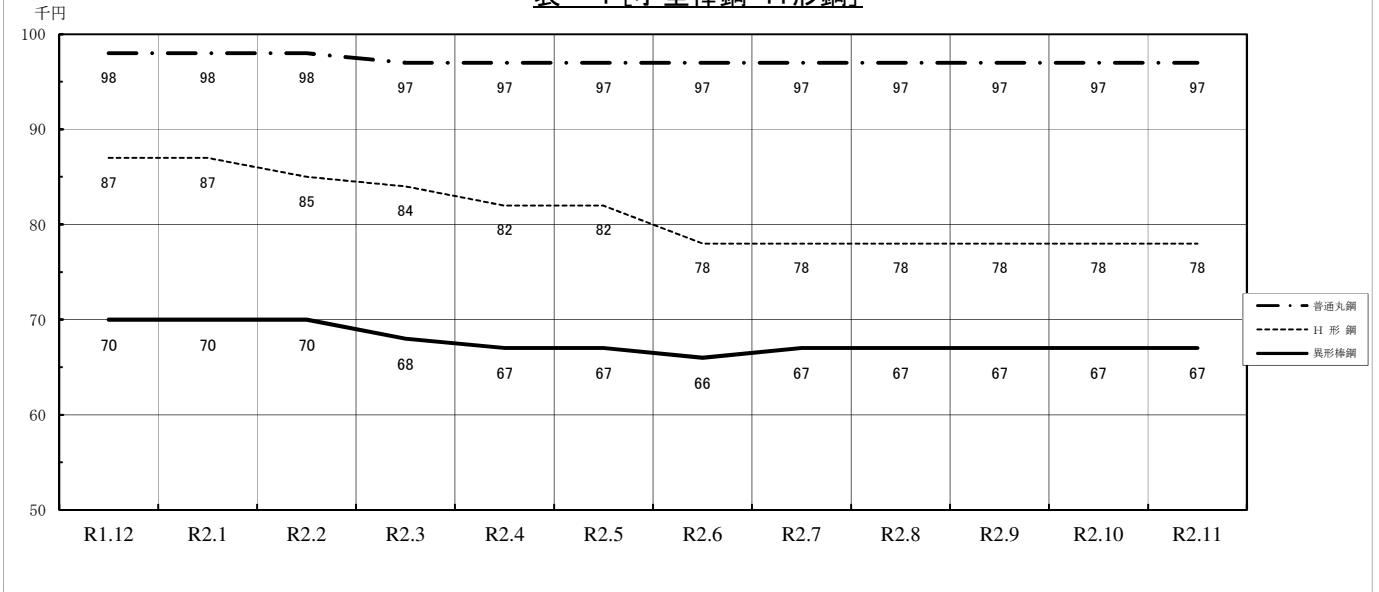


表-2 [セメント・生コン]

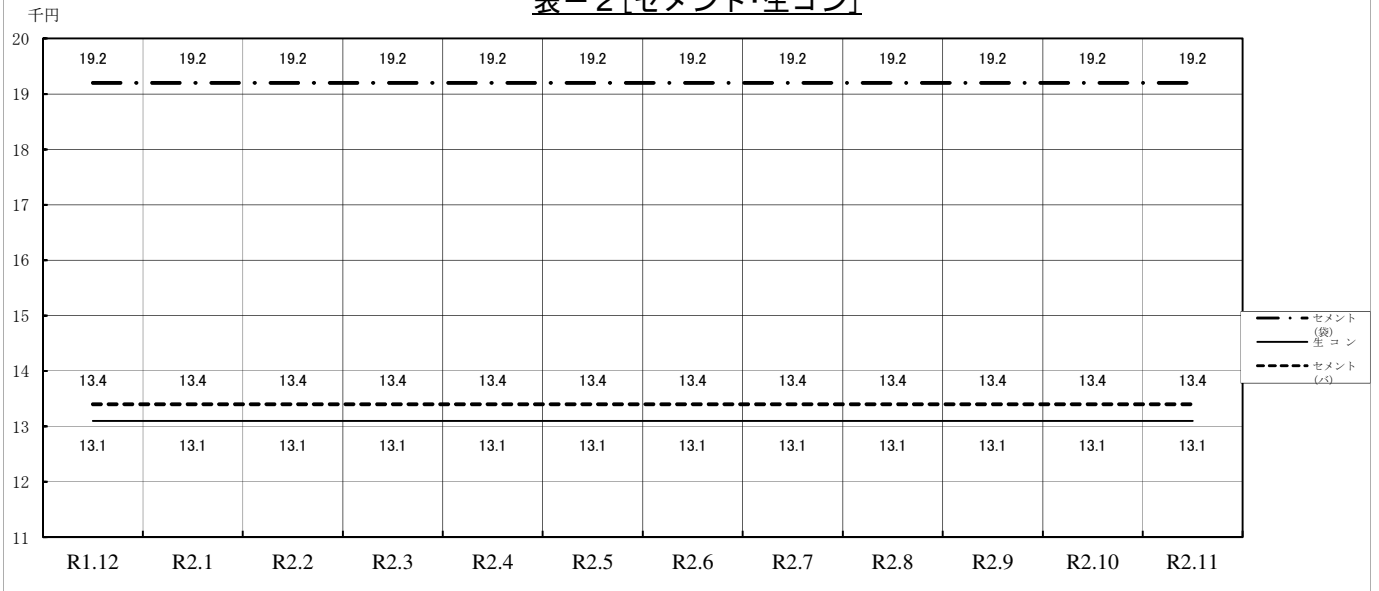
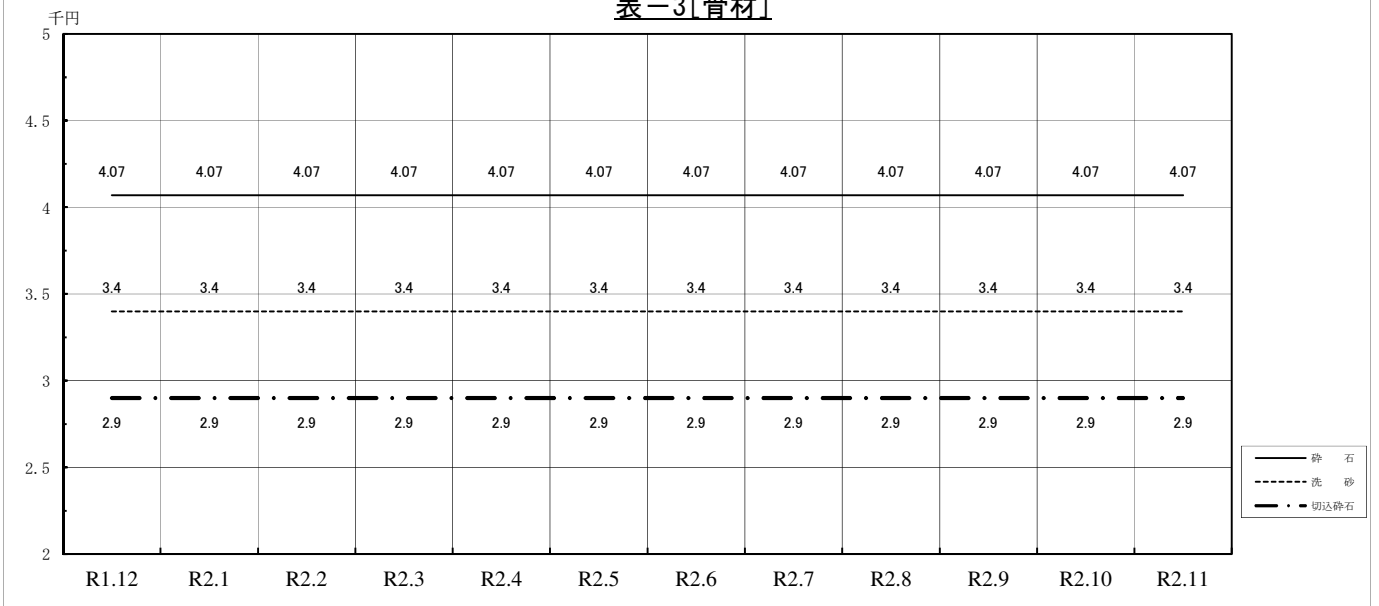


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

